

保健計画策定ツール運用ガイドラインのオリエンテーションの開始

セネガル保健セクターでは、10カ年計画である「国家保健社会開発計画（PNDSS）2019-2028」が策定され、「ガバナンスと保健財政」、「サービス提供」、「社会保障」の3つの重点分野が定められています。PNDSSを3年ごとの中期計画に落とし込む計画文書として、①多年度支出計画文書（DPPD）があります。保健区や州、中央レベルの各機関は、現場の状況分析に基づき目標を設定し、その達成のために必要な取り組みと予算を申請するという「成果重視マネジメント」の考え方をふまえ、DPPDで設定された目標を達成するためのアウトプットと指標の目標値、予算、期間、責任者を毎年決定し、②年間活動計画（PTA）を作成します。PTAが地域のニーズを適切に盛り込んだ計画になるよう、PTA作成に先立ち、コミュニティレベルで、③「保健開発委員会活動計画（PACDS）」と④「地方自治体年次保健社会活動計画（POCT-SAS）」を作成し、これら2計画の内容も組み込んで②PTAを策定する手順となっています。しかし、この①から④の4つの計画文書の関係性、策定スケジュールや策定方法などに関して、関係者の理解にバラツキがあることや、新たに加わった③PACDSについては、計画を作成する保健開発委員会メンバーの計画作成・運用能力に課題がありました。この背景の下、2019年にPARSS2は4つの計画文書の作成、実施、モニタリング評価の一連のプロセスと作成方法を示した「保健計画策定ツール運用ガイドライン」を新たに開発するための技術支援を行い、2019年11月にガイドラインは保健省の正式文書として技術的承認を得ました。



保健計画策定ツール運用ガイドライン



14州の州医務局計画担当者や他ドナーを招いてオリエンテーションを実施した

次のステップは、保健計画を策定できるよう関係者の能力強化をすることです。2020年はCovid-19の影響で活動が制限されましたが、2021年に入り、ガイドラインを使用したオリエンテーションを開始しました。1月に、14州の州医務局計画担当者を招いてオリエンテーションを実施し、研修講師31人を養成しました。その後、これらの講師が中心となり、対象州のファティック州、カオラック州でオリエンテーションを実施し、ファティック州で31人、カオラック州で23人の研修講師を養成しました。2月～4月にかけて保健開発委員会、地方自治体関係者向け保健計画策定オリエンテーションを2州で計36回実施します。保健セクターの計画はコミュニティから中央レベルまでの関係者が作り上げていくものです。オリエンテーションを通して、計画策定のプロセスや手法について、関係者の共通認識が得られ、良い計画作成に繋げることができます。

保健社会活動省（MSAS）合同スーパービジョンの実施支援

MSASは毎年11月末、その年の保健セクター重点分野について、現状と課題の把握とその対策を検討するために、合同スーパービジョンを実施しています。省内のほぼ全部署と全国の州医務局の関係者が参加する重要なイベントです。PARSS2は、2019年に「ファティック州・カオラック州保健開発委員会スーパービジョン」を実施支援した経験と実績が評価され、MSASより、ティエス州にて保健開発委員会の運用状況を確認する合同スーパービジョンを実施する際の技術的支援を要請されました。2020年11月23日から27日に、18のスーパービジョンチームを結成し、ティエス州の全9保健区を訪問して、保健開発委員会の文書管理、会議の実施状況、人材・予算管理などを確認しました。最終日、ティエス州知事を議長に迎えて行った共有会議では、県知事、郡長、市長なども出席し、スーパービジョンで明らかになった保健開発委員

会をとりまく課題の共有と保健セクターのローカルガバナンス改善に向けた協議が行われました。保健開発委員会関係者の計画策定運用能力を強化する必要性が確認されたことをうけ、カオラック州、ファティック州にて「保健計画策定ツール運用ガイドライン」オリエンテーションを実施する運びとなりました。オリエンテーション後のモニタリング活動を通して、プロジェクトは引き続き保健開発委員会運用能力強化にむけた技術支援をしていく予定です。



ンゲニエン保健ポストの保健開発委員会への訪問

2021年3月8日国際女性デー -プロジェクトの女性関係者へのインタビュー-

3月8日は「国際女性デー」です。今回、PARSS2開始以来、多くの活動を共に実施している3人の女性にインタビューを行いました。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



Mme Mame Amy DIALLO BALDE
保健公衆衛生総局
保健システム強化プラットフォーム

保健セクターの女性リーダーはどのような役割が期待されていますか？

私たちは男女により役割が異なるという概念から脱却する必要があります。保健セクターで働く女性は、職務を遂行するうえで必要な知識と技術があると認められて、現在のポジションに任命されています。私たちは女性であると同時に、社会の一員です。セネガル国民として、職務で期待されている役割には、性別は関係ありません。したがって、日常業務を実行する上で、女性という固定観念に縛られる必要はないと思います。女性は家族のために多くの時間を割いていますが、それを理由にスキルアップを継続する努力をやめてはいけません。セネガル国民として、社会に貢献することは非常に重要です。私たちはこのことを忘れずに、役割を遂行する必要があります。

PARSS2の支援で開発したツールは女性保健人材のエンパワメントやセネガル保健システム強化にどのように貢献できると思いますか？

私は、リソース・保健情報管理ツール（OGRIS）の改訂委員会の一員です。OGRISはセネガル保健セクターにとって重要なツールだと考えています。例えば、データ集計シート（TACOJO）は、日々のデータを集計することができるため、月末に膨大なデータの集計作業をする必要がなくなります。月末に業務を集中させないことで、時間を有効的に使うことができ、疲労を軽減し、日々の集計作業を効率的に進めることができます。このような業務管理がされていない場合、女性を含む保健人材は燃え尽き症候群に陥り、疲労によるサービスの質に悪影響を及ぼすリスクがあります。OGRISのツールは人材管理を適切にするために重要なツールであると感じています。

2021年はPARSS2の最終年です。これまでのPARSS2との連携や活動に対する感想・意見を教えてください。

強いチームワークのもと、良い雰囲気の中でPARSS2の活動ができ、PARSS2チームに感謝しています。私

は重要なツールの改訂作業に参加しましたが、過度なプレッシャーを感じることなく、プロジェクトと連携することができました。ツールが政治的承認され、実用化されるのを待ちきれません。将来的には全14州でツールが活用されることを望んでいます。

あなたの座右の銘/モットーは何ですか？

「真実は日常生活の中にある」
「大事なことはあなたの役割を果たすこと」



ジガンシヨール州ジガンシヨール保健区
OGRIS研修の参加者たちと(2019年3月)



Mme Awa Bouso MBACKE
保健社会活動省計画調査統計局パートナーシップ課
地方分権室 室長

保健セクターの女性リーダーはどのような役割が期待されますか？

「国家保健社会開発計画（PNDSS）2018-2028」で示されているように、保健社会活動省の女性は、強力なリーダーシップを発揮し、保健政策によりジェンダー主流化の取組に貢献することが期待されています。コミュニティレベルに設置されている保健開発委員会や保健共済組合にとって、ジェンダー主流化は非常に重要です。保健開発委員会や保健共済組合の女性メンバーにとって、住民の健康促進のために、それらの仕事が働きがいのあるものでなくてはなりません。これはユニバーサルヘルスカバレッジ推進のためにも非常に重要です。

日々の業務の中で、女性リーダーはどのような課題やニーズを抱えていますか？

保健システムの中で、女性が直面している課題はジェンダーの問題です。中央レベルにもある問題ですが、現場レベルでも大きな課題です。この課題を解決するためには、まずはコミュニティレベルの意思決定の場に女性を巻き込むことが重要です。

[3ページにつづく]

セネガルの保健セクターにおける女性保健人材はどのような役割が期待されていますか？

女性の保健人材は、医療サービスにおいて非常に重要です。特に母子保健の分野で、女性たちは大きなコミットメントをしてきました。セネガルの最も辺境の地域では、非常に熱心な助産師や看護師たちが、乳児と妊産婦の死亡率の減少に貢献しています。

日々の業務の中で、女性リーダーたちはどのような課題やニーズを抱えていますか？

女性リーダーたちの挑戦の1つは、男性に引けを取らない職務能力を示すことです。私たち女性リーダーは現在責任のある職位にあり、努力をすればこれらのポジションに就くことができることを証明しています。そこで、良いパフォーマンスを実践することが重要です。それは女性が男性と同等の職務ができることを示す機会でもあります。女性にとって、もう1つの課題は、仕事と家事の両立です。働く女性が仕事と家事を並行して行うことは非常に難しいと思います。しかし、女性の強さを活かして、仕事と家事を上手く調整し、2つを最大限できることを示すことが重要です。



Mme Ndèye Bator LOUM NDIAYE
ティエス州保健研修センター センター長

PARSS2支援で開発したツールは女性保健人材のエンパワメントやセネガル保健システム強化にどのように貢献できると思いますか？

PARSS2で開発された様々なツールは、職場の組織体系を改善するように設計されています。これらは、私たちの日常業務を効果的かつ効率的に実施することを可能にするツールです。そのため、女性保健人材のエンパワメントへの貢献だけではなく、中央、州、保健区、保健ポストの保健ピラミッドの各レベルにおいて、私たちが提供する保健サービスの質を向上させるために重要なツールだと思います。

2021年はPARSS2の最終年です。これまでのPARSS2との連携や活動に対する感想・意見を教えてください。

州保健研修センターは、PARSS2プロジェクト開始以来、5SやOGRISなど複数のコンポーネントのツールの改訂に協力、連携してきました。このような連携は州保健センターの2つ目のミッションである保健人材に対する継続研修に大変有用で、ツールの持続的な活用を担保することにも繋がっています。

あなたのモットーは？

「忍耐力を持つ」



ティエス州ポペンギン保健区
OGRIS研修で講師を務めるNdiayeセンター長(2019年3月)

PARSS2支援で開発したツールは女性保健人材のエンパワメントやセネガル保健システム強化にどのように貢献できると思いますか？

PARSS2は、ツールの開発を通して、特に保健ポストや保健センターの看護師や助産師などの女性保健人材の業務の体系化を促進しました。例えば、PARSS2ツールである計画カレンダーを正しく使用することにより、計画を実行に繋げることが容易にできます。このツールは保健開発委員会の活動計画にも使われています。

あなたのモットーは？

「仕事に規律を！」



ファティック州保健開発委員会スーパービジョンにて結果報告をするMbacke室長
(2019年9月)

2020年9月から2021年2月までの活動状況

5S:

5Sとは、「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の各ステップの頭文字をとって名付けられた標語です。資源が限られた医療施設において、保健医療サービスの質の改善のため各国で実施されています。2020年10月12日から17日までティエス州ホンボル保健センターで、2020年11月23日から27日まで同州メヘ保健センターで5S研修を実施しました。Covid-19に対して、5Sは院内感染対策に有効であるということから、感染予防策を徹底して研修は実施されました。ホンボル保健センターでは、保健区長の強いリーダーシップのもと、各ユニットへの5Sの実践が行われました。最終日には今後のアクションプランが策定され、5S

活動を継続するための定期的なモニタリング計画の策定や5S委員会が設立されました。メヘ保健センターは敷地が広く、建物も多いため、他保健センターと比べると5Sの導入が大変でした。しかし、保健区長を中心として、保健センター職員とプロジェクトが一丸となって、5Sを導入することができました。メヘ保健区長からは「開発パートナーは資金提供のみするものと思っていたが、PARSS2のスタッフが現場で保健センター職員と手を動かす光景は目新しかった」というコメントがあり、保健センターと共に、課題を解決するPARSS2の支援方法の強みを示すことができました。



研修前



研修中



研修後

5S研修前後のホンボル保健センターの倉庫

県保健情報システム (DHIS2) / 情報管理システム:

保健情報マネジメントのモニタリング活動2つをカオラック州で実施しました。まず、2020年9月21日から24日にかけて「年間データレビュー会合(2019)」を行いました。保健社会情報システム課の職員が、県保健情報システム (DHIS2) へのデータ入力状況とエラーについて説明し、その後、保健区ごとに、グループワーク形式で指摘されたエラーの修正作業を行いました。次に、2020年10月21日から23日にかけて、「上半期保健データ質検証ミッション」を実施しました。監査チームが、各保健区、1保健センターと2保健ポストを訪問し、台帳の記入状況や、DHIS2の入力状況を確認しました。保健情報マネジメントには課題が多く、州・保健区、保健ポストの情報管理システム (SIG) 運用における人材育成のニーズが確認されました。このニーズを充足するために、PARSS2は、DHIS2/SIG研修の研修講師マニュアルの策定と2021年に実施するDHIS2/SIG研修の実施準備を進めています。



フィムラ保健ポストでの保健データ質検証ミッション

ファティック州における2020年第4四半期調整会合:

2021年1月27日に、ファティック州2020年第4四半期調整会合の実施を支援しました。同会議では、州医務局長と全保健区長より2020年のパフォーマンスの状況の報告後、多岐にわたる議題が協議されました。PARSS2に関連する点として、以下の協議が行われました。

- 1) 5Sは、院内感染予防や職場環境の改善に有効なので、継続的に実施する。
- 2) 計画策定について、地方自治体と保健施設・保健区との連携が不十分であり、地方自治体年次保健社会活動計画 (POCT-SAS) が適切にPTAへ統合されていない点を改善する。
- 3) プロジェクトが実施支援した「保健データ質検証ミッションの実施」や「年間データ (2019年) レビュー会合」で明らかとなった、ツールの未使用、不十分な報告書、集められていない指標があるので改善する。

プロジェクトは各州と連携してPTA活動のモニタリングを継続し、保健サービスの向上に貢献していきます。

2021年3月～6月の活動予定

- ✓ 改訂版5S研修モジュールとツールの最終化会議
- ✓ 保健開発委員会、地方自治体関係者向け保健計画策定オリエンテーション
- ✓ DHIS2/SIG研修講師用マニュアル技術承認会合
- ✓ DHIS2/SIG 研修